

Gentran:Server® for Windows® V5.0J

リリースノート

最終更新日：2004年8月30日

重要なお知らせ

Gentran:Server® for Windows

をインストールまたはアップグレードする前に、オペレーティングシステムとデータベースの要件およびサービスパックの情報を **GettingStartedCard.pdf** で確認してください。

このreadme に記載されている製品情報は、Gentran:Server for Windows 5.0J がリリースされた時点での有効な情報です。ドキュメントとreadme の間に相違がある場合、readme の情報が優先されます。

目次

Gentran:Server for Windows 5.0J

- アップグレードに関する注意事項 - アップグレードに関する注意事項
- 日本語版制限事項 – 日本語版を使用する際の注意事項
- 5.0 の新しい機能 - 新規追加機能および変更された機能
- サポートされるオペレーティングシステム – Gentran:Server for Windows をインストールできるオペレーティングシステムの表
- ドキュメントの訂正

アップグレードに関する注意事項

Gentran:Server for Windows

のアップグレードを開始する前に、データベースおよびレジストリを含む既存のシステムのバックアップを必ず実行してください。

アップグレードにより、オーデイト情報のフォーマットが変更され、既存のデータベース

スキーマの変更が必要になる場合があります。影響を受けるテーブルについては『管理ガイド』

を参照してください。インストールの際に、既存の情報が新しいスキーマへ変換されます。インストールが正常終了せず、V5.0

のインストールを再度実行する場合、事前にデータベースの復元が必要となる場合があります。

インストールの際に、4日以上経過したオーデイト

ログを毎日削除するプロセス管理イベントが、デフォルトとしてスケジュールに設定されます。ページされたオーデイト

ログはデータベースから削除され、テキストファイルに”追加”されます。このテキスト

ファイルは、特に設定しない限り、ディスクスペースの許す範囲で増え続けます。テキストファイルへログを追加したくない場合、GDW_Audit_Purge

コマンドの直前にプロセス管理セッション File_Delete

コマンドを追加することで対応できます。プロセス管理の詳細については、『ユーザーガイド』を参照してください。

[目次に戻る](#)

日本語版制限事項

- Microsoft SQL サーバーを使用する場合、Gentran:Server データベース用のODBCデータソースを設定する際に「SQLServer のシステムメッセージを以下の言語に変更する」という項目でEnglishを選択してください。この設定はGentran:Server用データベースにアクセスするDSNのみに適用して

ください。他のアプリケーションで使用される他のDSNは影響を受けません。またどの値でも設定できます。設定値の変更の方法については、SQL Server ドキュメントを参照してください。

- アーカイブ定義は、定義名に DBCS 文字が含まれていると正常に動作しないため、ASCII 文字を使用する必要があります。
- XMLトランスレーションでサポートされる文字コード セットには制限があります。
- Gentran:Server for Windowsでは、和暦はサポートされていません。システム日付には和暦を使用しないでください。
- 2つの予約語 (ダブルクォーテーションと円記号) が、拡張ルールに新規に追加されています。

o 新規に追加された定義方法

"\(+文字列)"

(例) 円記号を定義する場合

"\""

o 旧バージョンでサポートされていた定義方法

"^(+1バイト Hex コード)"

例) \記号を定義する場合

"^5C"

- V5.0
のブラウザは、一部の文字を正しく表示できない場合、ディスプレイ表示のデフォルトが16進になります。正しく表示されない文字セットには、UTF-16の全言語の文字と、UTF-8のASCIIを除く文字が該当します。

[目次に戻る](#)

5.0 の新しい機能

- EDIFACT シンタックス バージョン 4 がサポートされています。
- パートナー エディタのファンクショナル グループ コントロール 関係ダイアログから、[トランザクション Control Number] – [グループからの順番] オプションが削除されました。
- サポートされるオペレーティング システム リストが更新されました ([サポートされるオペレーティング システム](#)を参照してください)。
- メールボックス MAPI ゲートウェイは、Office XP で配布されるMAPI をサポートします (MS Exchange Serverへの送信の場合は自動送信のみサポート)。
- スタンダード ルールまたは拡張ルールを含むマップ フィールドには、目印としてアスタリスクが使用されます。
- アプリケーション インテグレーションの拡張ルール ダイアログボックスに、行番号と列番号が追加されました。
- レコードの切り取りと貼り付けの際、リンクも一緒に移動できます。
- 拡張ルール ウィンドウでコンパイル エラーをダブルクリックすると、エラーの位置にナビゲートします。
- パフォーマンスの向上により、XML マップ作成時の DTD のロード時間が短縮されています。
- 固定長および XML マップで小数点文字が使用できます (EDI - 既定値の設定オプションに類似)。

- 拡張ルールのCerror
コマンドが強化されました。グループの拡張ルールで使用する場合、エラーが発生したターゲットのセグメントかフィールドのタグが含まれます。
- ODBC マップのログオン情報の定義で、パスワード
フィールドが暗号化されます。
- XML トランスレーションの ISO-8859-1
エンコーディングがサポートされています。
- Gentran エグゼクティブ
サービスは、開始時に重要なディレクトリの存在チェックを行います。見つからなかった場合、ディレクトリが作成され、オーデジット
ログにエラーが記録されます。
- インポート時にドキュメントに関連付けられているパートナーが見つからなかった場合、ドキュメントは抜け落ちないで？アウト
ボックスにポストされます。オーデジット
エラーは、以前と同様に記録されます。
- すべてのドキュメント ブラウザは、表示サイズを変更できます。
- すべてのドキュメント
ブラウザの列幅は保存でき、次回表示の際、その設定で表示されます。
- GICheck ユーティリティで、Documents、IntIn、IntOut、Store
ディレクトリ下の空フォルダを削除できます。コマンドライン
インターフェイスにこの機能が含まれたため、自動処理セッションでの実行が可能です。
- GICheck ユーティリティの整合性チェックに、ExternalData
テーブルおよびディレクトリが追加されました。
- ドキュメント検索結果から EDI
データや外部データのドキュメント情報にアクセスできます。
- Gentran:Mailbox で複数メッセージを処理する際、デリバリー
エージェントの実行が一つのメッセージで失敗しても、他のメッセージの処理に影響はありません。以前のバージョンでは全てのメッセージの処理が中断されていました。

- RosettaNet
データを送信する場合、すべての種類のドキュメントがソートされ、受信確認が先に送信されます。
- アーカイブ マネージャで日付と名前によるソートができます。
- アーカイブ実行時、アーカイブ対象データが無い場合、以前のバージョンで作成されていた空のアーカイブ ファイルは作成されなくなりました。
- 電子商取引マネージャのツールバーでオーデイト ログ ボタンをクリックすると、開いているオーデイト ログ ウィンドウをリフレッシュ表示します。以前のバージョンでは、別のオーデイト ログ ウィンドウが開かれていました。
- クライアントからGentran:Server 構成を起動すると、[システム構成] ダイアログ ボックスの既定値の設定はクライアント コンピュータではなく、プライマリ システム コントローラとなります。
- 電子商取引マネージャのタイトル バーに、接続している Gentran システム名が表示されます。
- 情報レベルのオーデイト メッセージを一括してログに記録しないようにできます
- トランスレーション
ドキュメントのチェックでエラーが発生した場合、オーデイト メッセージにドキュメントの種類と名前が含まれます。
- RosettaNet ユーザーは、無効となったRosettaNet メールボックス メッセージを解析のために任意で保存できます。セキュリティ違反や例外が発生したメッセージは、無効と見なされます。
- PIP Instance Viewer でアウトバウンド 0A1 を表示できます (格納場所は、以前の IntOut ディレクトリから IntRNPIP0A1 ディレクトリに変更されました)。また、ビューアから 0A1 インターチェンジ ファイルを削除することもできます。
- 自動処理の Exec_Program コマンドに対するオーデイト ログ メッセージに、対象ファイル名と実行プログラムが含まれます。
- 自動処理の File_Copy コマンドに対するオーデイト ログ メッセージに、対象ファイル名が含まれます。

- 自動処理の File_Delete コマンドに対するオーデイト ログ
メッセージに、対象ファイル名が含まれます。
- メールボックス クライアント (mbclient.exe) から発行されるオーデイト ログ
メッセージには、以前のメールボックス サーバー名でなく、クライアント
コンピュータ名が含まれます。
- フィルタを使用してメールボックスを表示すると、タイトル バーに
[フィルタ適用] と表示されます。
- 収集メールボックスのファイル収集が失敗した場合、オーデイト
メッセージにメールボックス ID ではなく、メールボックス名が含まれます。
- メールボックス システム ブラウザ フィルタで、コンテンツ
タイプのフィルタ条件をリストから選択するだけでなく、値をタイプできるよう
になりました。
- メールボックス ブラウザ フィルタの動作は、Gentran
の他のブラウザと整合性がとれています。
- 電子商取引マネージャの送受信は任意のタイミングで開始できます。送受信が完
了してデスクトップのコントロールが解放されるのを待つ必要はなく、他のタス
クを実行できます。
- アウト
ドローフ概要の印刷では、表示されているドキュメントすべてではなく、選択し
たドキュメントだけを印刷できます。
- X12 アウトバウンド インターチェンジ関係で、ISA/11 フィールドに [U]
と同様に [X] をタイプできます。
- メールボックス クライアントでは、メールボックス情報を XML
ファイルにエクスポートしたり、XMLファイルからインポートしたりするこ
とができます。
- パートナー エディタ: [パートナーの定義] で [デフォルト メールボックス]
リスト
ボックスのサイズが、長いメールボックス名を表示できるように拡張されまし
た。

- [R 型フィールドの先行ゼロの除去] で小数点セパレータ用にカンマ [,] が使用できます。
- FTP セッションの障害発生時、オーデイト ログに記録されるエラーにはメールボックス名が含まれます。
- 電子商取引マネージャの [トランスレーション オブジェクトの登録] ダイアログボックスで、トランスレーション オブジェクトは名前順でなく種類順にソートされます。
- メールボックス クライアントは、メールボックス サーバー上の Store ディレクトリが見つからない場合、メールボックスの作成ができません。さらに、エラーがオーデイト ログに記録されます。
- プロセス管理のウィンドウで、すべてのセッションが一画面に表示されていない場合、スクロールして表示できます。
- 32,001 個以上のドキュメントを含むインターチェンジのトランスレーションがサポートされています。このサイズのインターチェンジに対する受信確認の生成もサポートされます。
- 501 個以上のメールボックスがある場合、[ホスト メールボックス] ダイアログボックスではメールボックスを選択するのではなく、メールボックスを1つだけ入力するようになります。
- アーカイブ マネージャ ウィンドウは、アーカイブが手動で実行されると自動的にリフレッシュされます。
- アーカイブ マネージャに追加されたリフレッシュ ボタンで画面のリフレッシュができるため、アプリケーションを閉じて再度開く必要がありません。
- Gentran エグゼクティブ サービスは、アウトバウンド リカバリ (送信キューにドキュメントが停滞するのを防ぐ) の実行前に Gentran コミュニケーション サービスが開始するのを待ちます。

[目次に戻る](#)

サポートされるオペレーティング システム

サポートされるオペレーティング システム (Gentran:Server for Windows サーバー)

OS	DB	Clustered	Non-Clustered	Distributed
Win 2000 Svr	SQL 2000	N	Y	Y
Win 2000 Adv Svr	Oracle	Y	Y	Y
Win 2003 Ent	SQL 2000	Y	Y	Y
Win 2003 Std	Oracle	N	Y	Y
XP Pro	SQL 2000	N	Y	N (Single)
Win 2000 Pro	SQL 2000	N	Y	N (Single)
Win 2000 Pro	Oracle	N	N	N (Single)

Oracle 9i データベースを使用して Windows 2003 に Gentran:Server for Windows をインストールする場合は、次の Oracle パッチセットをインストールする必要があります。 **Release 2 Patch Set 3 Version 9.2.0.4.0 for 32-Bit Windows**

サポートされるオペレーティング システム (Gentran:Server for Windows クライアント)

- XP Pro
- Win 2000 Pro

[目次に戻る](#)

ドキュメントの訂正

次の Windows NT に関する記述は削除されるべき内容です。

- Gentran:Server for RosettaNet User's Guide -- 1-11, 4-15, B-5
- ユーザー ガイド -- ii
- Extension for SAP R/3 ユーザー ガイド -- C-11
- 管理ガイド -- 4-8, 4-9

[目次に戻る](#)